

一段と寒さの厳しい1週間でした。グラウンドから、冠雪の美しい霧島連山が望めます。

# 有水中学校校長室より

令和4年12月23日(金)

文責 木宮 崇子

## 終業式の話

二学期が終わりますね。冬休みは年末年始ということもあり、ワクワクすることが多い休みですね。どこかに出かけたり、親戚に会ったり、何かをもらったりと言う機会が多いでしょう。楽しみですね。先生も、家の大掃除をしようかなあとか、美味しいものを食べたいなあなんて考えています。あ!ごめんなさい!!3年生はそんなことを言っている場合ではないですね。冬休みにワクワク楽しいことをしている場合ではないですね。三学期になれば、次々と入試が始まります。この冬休みは、入試に向けて力をつける期間ですね。長い人生の中で、十分に楽しめない正月もあるものです。自分の進路実現のために、後悔しない17日間にして下さい。

さて、二学期の始業式で「暑い気候から、寒い気候に変化するくらい二学期は長い期間です。この長い期間に行動のレベルの変化をして下さい。」と話をしました。覚えていますか。行動のレベルの変化はできましたか。たとえば誰かが重い荷物を運んでいたとします。それを見て「重いんだろうな。大変そうだな。」とだけ思っているだけでじーっと見ていると心は伝わらないと思いませんか。荷物を持っている人は「この人は重い荷物を持っている自分をただ見ているだけで何もしてくれない。不親切な人だな。」と感じるかもしれません。さあ、ここで「手伝うよ」と荷物を持つこと。これが行動です。行動するには。相手のことを想像し、理解する心が必要です。この想像する、理解するためには、色々なことを知り、頭の回転をよくしなくてはなりません。

毎日刻一刻と時間が過ぎ、私たちは変化しています。行動力のある自分に変化させるにはどんな方法があるのでしょうか。やはり、学ぶことです。学ぶというと皆さんは、教科書を開いて、問題集をして、授業を聞いて・・・と考えがちですが、自分で見たこと、聞いたことを頭の中に入れること、失敗したり注意されたりしたことを反省し、次は絶対に失敗しないぞと心に誓うこと、これらのことを行動に生かす。これが学ぶということではないでしょうか。

冬休み、家族や親戚と過ごす時間が多くなります。いつも一緒にいる先生方とは違う大人と話をしたり、家事を手伝ったり、家庭生活でも自分を成長させる材料はいくらでもあります。当たり前の普段の生活の中でも学ぶことはたくさんあります。

夏休みとはまた違った体験をする事が多い冬休み。学校とは違う場所で学び、変化した姿で1月10日に会いましょう。

年末年始。各ご家庭でそれぞれの過ごし方があるかと思います。せつかくの年末年始だからと、どこかへ出かけることもあるでしょう。家庭の都合で特別に何をすることが不可能なご家庭もあるでしょう。ここで考えていただきたいのが、何か特別なことだけが思い出となるわけではないということです。普段の当たり前の日々の生活こそ家族の繋がりを強くするのではないのでしょうか。家族の一員として家族のために何かできるかを考えさせてみてください。

## やはりメディアは・・・

1年生教室の背面掲示板に1人1人の養生訓と題して、【欲をこらえるには】というテーマで自分の決まり事が考えていました。11人の1年生のうち8人がスマホやゲームといったメディアに関することを我慢する、〇時までにする、〇時間だけやるといった内容でした。中学生の生活の中で、メディア類は欠かせない存在であると同時に、断ち切りたい「欲」の対象なのですね。親は我が子には勉強してほしいと願うものです。しかし、子どもはいつこうに勉強に気持ちが向かない。何が勉強へ向かう気持ちをストップしてしまうのでしょうか。一つの要因としてスマホ、タブレットというメディアが壁なのでしょう。先日 Chromebook の使い方の家庭での約束を決めて下さいとお願いしましたが、メディア使用の対策は家庭でも学校でもかなり気をくばらなければならない案件だと感じます。メディアに自分の時間を支配されないでほしい。しかし使わない訳にはいかない。だからこそ有効な使い方をしてほしいと切に願うのです。